

本プレスリリースは、GRANDIT 株式会社、AJS 株式会社、の共同リリースです。  
重複して配信される場合がありますが、ご容赦いただきますようお願い申し上げます。

報道関係各位

2013 年 10 月 22 日  
GRANDIT 株式会社  
AJS 株式会社

## 完全 Web-ERP「GRANDIT」人事考課機能を強化 人事考課支援システム「P-TH」と連携 ～人事考課の業務と評価現場の業務遂行を支援～

GRANDIT 株式会社(本社 東京都渋谷区 代表取締役社長 山口 俊昌、以下 GRANDIT)とITホールディングスグループの AJS 株式会社(本社 東京都新宿区 代表取締役社長 河崎 一範、以下 AJS)は、このたび、人事考課支援システムとERPシステムを連携し、サービス提供することに関して業務連携したことをお知らせいたします。

近年、企業活動のグローバル化や変化のスピードが高速化していることに伴い、企業内の人材活用や人材育成も流動化・グローバル化が進んでいます。このような変化の時代にあって、人材活用についても社内業務の効率化、情報の見える化、柔軟性が求められています。また、戦略的な人材の配置・活用、育成計画立案のためには、その基礎となる正確な人材情報の把握が不可欠となっています。

今回の業務提携により、次世代完全 Web-ERP「GRANDIT®」と AJS の人事考課支援システム「P-TH/ピース」との連携が可能となり、いままでは別々の管理をしてきた“考課結果”と“考課プロセス”を集中管理することで業務効率を向上させ、基幹システムと人材情報を密に連携した戦略的な現場マネジメントを可能にします。P-TH は、Web と Excel を用いたシステムで、現在使用している人事考課フォーマット(Excel)を利用した入力インターフェースを設計でき、被考課者と考課者の入力情報をデータベースにて一元管理できることが特徴で、「GRANDIT」の人事モジュールと連携することで、人事考課業務効率を向上させ、コスト削減にも寄与します。

今回発表した、「P-TH」との連携の詳細につきましては、10 月(東京)、11 月(大阪)に開催する「GRANDIT コンソーシアム・ソリューションセミナー2013 Autumn」のワークショップでご紹介いたします。

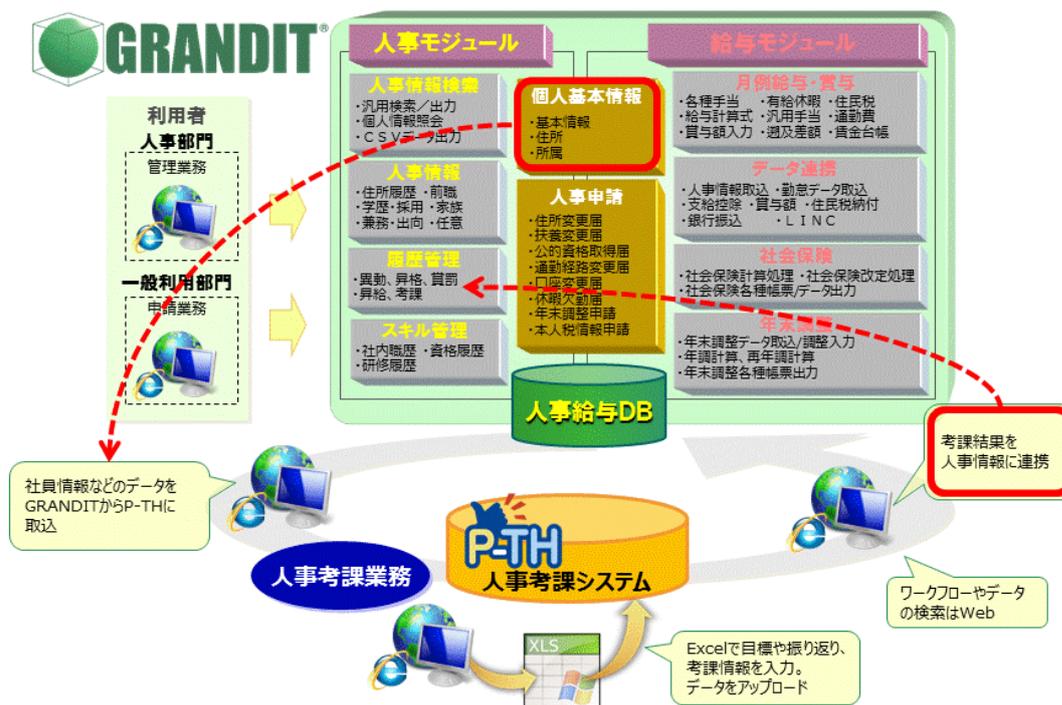
### ■GRANDIT コンソーシアム・ソリューションセミナー2013 Autumn お申し込み

東京会場: [http://www.grandit.jp/solsem2013\\_autumn/tokyo/](http://www.grandit.jp/solsem2013_autumn/tokyo/)

大阪会場: [http://www.grandit.jp/solsem2013\\_autumn/osaka/](http://www.grandit.jp/solsem2013_autumn/osaka/)

以上

## ▼P-THとGRANDITの連携イメージ



### ■ 人事考課支援システム「P-TH」について

AJS が提供する人事考課支援システム「P-TH」は、人事部門と現場考課者の人事考課業務を支援するツールです。WebとExcelを用いたシステムで、人事考課に伴う作業負荷の軽減と、人材活用の促進を実現します。

#### 【製品の特長】

- ① GRANDIT から社員の個人基本情報を取込み、考課結果を GRANDIT に連携します。
- ② 目標管理・振返りのデータをデータベースに登録して一元管理します。データへのアクセス権限管理、検索機能、人事考課の進捗見える化をシステムで実現します。
- ③ 手作業で行っていた入力や転記の作業がシステム化されるため、人為的なミスを削減できます。これにより、現場上司や人事担当者が負荷となっていた手作業・チェック作業から解放されます。
- ④ 評価を一覧で表示する帳票にて、入力または登録された評価の分布を確認できます。そのため、評価分布のシミュレーションをしながらの評価入力・調整、登録が可能です。
- ⑤ 考課の入力には現在使用している目標管理フォーマットをそのまま利用できるため、操作教育などにかかる現場の負担も少なくシステム導入が可能です。

## ■ 完全 Web-ERP「GRANDIT」について

「GRANDIT」は、コンソーシアム方式により業界を代表するSI企業のノウハウを集大成したWeb-ERPで、経理、債権、債務、販売、調達・在庫、製造、人事、給与、資産管理、経費の計10モジュールにより構成されています。BI(ビジネスインテリジェンス)<sup>注1</sup>、EC、ワークフロー等を標準搭載し、多言語、多通貨、マルチカンパニー機能などにより、海外拠点での利用も容易となり、海外グループ拠点を含めた情報のリアルタイム連携を実現することで、海外生産拠点到留まらない企業グループのグローバル展開を支援します。また、クロスプラットフォーム対応(OSに依存しないアプリケーション)のモバイル・アプリケーション開発が可能となり、企業におけるスマートデバイスの導入・活用による更なる競争力強化を実現します。加えて、内部統制対応機能も装備し基幹システムとしての根幹を備えています。こうしたインターネット時代を代表する完全 Web 対応という先進的な特長が評価され、これまで 650 社 2,800 モジュールを超える導入実績(2013 年 9 月現在)を上げており、日本を代表する ERP として急成長している製品です。

## ■ GRANDIT コンソーシアムについて

GRANDIT コンソーシアムは、顧客視点に立ち、日本企業に最も適し、最新技術基盤を採用した ERP パッケージソフトを開発するために 2003 年 10 月に設立されました。製品完成後も製品とサービスの絶え間ない成長をめざし、定期的な活動を続けております。

プライムパートナー<sup>注2</sup>は、インフォコム、AJS、NEC ネクサソリューションズ、オーガス総研、システムインテグレータ、双日システムズ、DACS、東洋紡システムクリエート、日商エレクトロニクス、日鉄日立システムエンジニアリング、パナソニック インフォメーションシステムズ、ベニックスソリューション、ミロク情報サービス(以上 50 音順)の 13 社で構成され、ビジネスパートナー<sup>注3</sup>を加えて 57 社(2013 年 9 月現在)となっております。

プライムパートナー一覧:<http://www.grandit.jp/partner/prime.html>

ビジネスパートナー一覧:<http://www.grandit.jp/partner/business.html>

## ■ 注釈について

注1 BI(ビーアイ) Business Intelligence(ビジネスインテリジェンス)の略

企業の蓄積されたデータを活用し、経営に寄与する意思決定の支援を行う、データの収集・分類・分析・アクセス方法などを提供するソフトウェアのこと。

注2 プライムパートナー

GRANDIT コンソーシアムメンバー企業。

注3 ビジネスパートナー

コンソーシアムメンバーと協力して「GRANDIT」の販売とインテグレーションを担当するパートナーのこと。

## ■ GRANDIT 株式会社について

GRANDIT 株式会社は、GRANDIT コンソーシアムの運営を行い、コンソーシアム各社に蓄積されたノウハウやお客様の声を「GRANDIT」の製品開発に反映しています。また、「GRANDIT」のパッケージ著作権、パッケージ産業財産権を持ち、プロダクト維持管理、保守及び導入支援を行っております。

### <会社概要>

- ・ 商 号 GRANDIT 株式会社
- ・ 住 所 東京都渋谷区神宮前 2-34-17 住友不動産原宿ビル
- ・ 代表者 山口 俊昌(やまぐち・としあき)
- ・ U R L <http://www.grandit.jp/>

## ■ AJS株式会社について

AJS は1987年に旭化成グループ会社として設立され、現在、IT ホールディングスグループの一員として各分野のお客様に対して、ERP 開発/保守/運用/コンサルティング、基幹系システムのデータを活用する業務ソリューション、パッケージ開発・販売の3つの柱でお客様の価値向上を目指したサービスを提供しています。

### <会社概要>

- ・ 商 号 AJS 株式会社
- ・ 住 所 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
- ・ 代表者 河崎 一範(かわさき・かずのり)
- ・ U R L <http://www.ajs.co.jp/>

## 【本ニュースリリースに関する報道関係各位からのお問い合わせ先】

### ■ GRANDIT 株式会社

事業推進ユニット

TEL: 03-6866-3910 FAX: 03-6866-3920

E-mail: [grandit@grandit.jp](mailto:grandit@grandit.jp)

### ■ AJS 株式会社

経営企画部 広報

TEL: 03-6742-5501 FAX: 03-6742-5599

E-mail: [info@ajs.co.jp](mailto:info@ajs.co.jp)

※GRANDIT は、GRANDIT 株式会社の登録商標です。

※その他、記載している会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。